

学校経営

～信頼される学校づくり～

ICTを活用した教育活動

- ICTを日常的に活用した教育活動を実施するための体制整備（ICT推進委員会の設置など）
 - 教員のICT活用スキル向上・授業改善の推進
 - 情報セキュリティを確保しながら、校務の情報化・効率化の一層の推進
- ・各教科等におけるICTを活用した授業改善
 - ・教科以外の教育活動におけるICT活用の推進
 - ・端末機器の活用のルールづくり及びICTリテラシーの向上
 - ・オンライン学習や家庭学習でのICT活用の推進
- ・ICTを活用した学習評価や成績処理の効率化
 - ・各種調査や会議の電子化・オンライン化の推進
 - ・既存のメール配信に加え、オンラインによる家庭・地域との連絡手段の構築

喫緊の教
解決に
校内研修

新たな少人数
による指導

育課題の
向けた
の充実

学級編制
の充実

「新しい生活様式」を踏まえた教育活動

- 日常的な新型コロナウイルス感染症対策の継続（身体的距離の確保、マスク着用、手洗い、消毒、検温を含めた健康観察、換気 等）
- 学習活動における新型コロナウイルス感染症対策の徹底（各教科等の授業や部活動、給食等の活動場面に応じた感染症予防対策の実施）
- 臨時休業等を想定した児童生徒の学びを止めない体制づくり（状況に応じて、自宅等においても学習を継続するためのオンライン学習等が行える体制の整備）

◆教育課程の編成・実施・評価・改善

（カリキュラム・マネジメントの充実）

- 学習指導要領で求める資質・能力の育成に向けた教育課程の編成・実施
- 教育課程の評価につながる学校評価項目の設定と、評価結果に基づく教育課程の改善
- 教職員の働き方改革を踏まえた教育課程の改善

○学びの連続性を意識した教育課程の編成・実施

- ・幼児期の学びや生活を通して育まれてきた資質・能力を踏まえて、小学校での教育活動を展開するスタートカリキュラムの編成・実施
- ・学習指導における小中学校間の情報共有、小学校高学年の教科担任制の一層の推進、小・小中兼務教員による指導など、小・中学校9年間で育成を目指す資質・能力を確実に定着させるための体制づくり
- ・新たな学習や生活への意欲につなげるために、児童生徒が学んだことの振り返りを記録したシートやデータの蓄積・活用

◆確かな学力の育成

- 「はばたく群馬の指導プランII」等を参考にするなど、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図った授業づくりの推進
- 指導と評価の一体化の充実

◆豊かな人間性の育成

- 児童生徒理解に基づく成長を促す指導の充実
 - SC・SSWを活用した教育相談体制の充実
 - 道徳教育の全体計画及び別葉の活用・見直し
 - 人権教育年間指導計画の活用・見直し
 - 人権重要課題11項目と学習指導要領の内容等との関連を図った指導の推進
- ※「人権教育推進資料」参照（R2年3月 群馬県教育委員会）

◆健やかな体の育成

- 運動できる時間・空間・仲間の確保を通じた、身体活動量（身体活動の強さ×行った時間の合計）の増加に向けた取組の充実
- 栄養教諭等を中核とした家庭との連携による食育の推進
- 小・中学校における生活習慣病予防対策基本方針等を参考にした望ましい生活習慣の定着を図るための取組の推進

◆特別支援教育の充実

- 「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」に基づく、個々の児童生徒の実態及び配慮等の内容を共通理解するための校内体制づくり
- 切れ目なく必要な支援を継続するための関係機関との連携の推進
- 年間指導計画に基づく組織的、計画的、継続的な交流及び共同学習の実施

働き方の
を考えた
教育活動

「量」と「質」
真に必要な
の充実

子どもに力
教育

を付ける
活動

子どもの
を守る

命・安全
教育活動

法令等に
教育

基づく
活動

◆業務改善・組織運営

- 在校等時間記録ファイル等を活用した、客観的かつ適正な勤務時間の記録と集計・分析を通じた、長時間勤務の改善に向けた取組の推進
- 部活動の目的・意義を踏まえた活動時間や休業日の設定と、部活動数の適正化の検討
- 教職員の心身の健康保持増進と、不調の未然防止等のための労働安全衛生管理体制の整備・充実

◆家庭や地域社会との連携・協働

- 地域学校協働活動とコミュニティ・スクールの一体的推進
 - 「地域学校協働活動ガイドブック」を参考に、地域とともにある学校づくりに向けた学校と家庭・地域の目標やビジョンを共有
 - 学校と地域の連携・協働による活動の充実に向けた、学校評議員会や学校運営協議会の組織、内容等の工夫・見直し
- ※「地域学校協働活動ガイドブック」参照（R2年9月 群馬県教育委員会生涯学習課）

◆学校安全・危機管理

- 登下校時の交通安全・不審者対応等、地域や関係機関と連携した取組の推進
- 自然災害等から主体的に身を守るための特別活動、総合的な学習の時間を活用した防災教育の充実
- 危機的な状況が起こらないよう対処する行動（リスクマネジメント）と、危機的な状況が発生した場合・発生した後の行動（クライシスマネジメント）に係るマニュアル等の作成と活用

※危機の内容例

食物アレルギー等によるアナフィラキシー、集団食中毒、熱中症、運動時の事故、新型コロナウイルス等の感染症、不審者、地震、落雷、火災、大雨、情報漏洩、施設の保守管理、修繕の不備、合理的配慮に対する理解の不足 等